

# 竹取新聞

**株式会社 カグヤ**  
東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビルディング  
2号館10階



第78版

理念と実践で  
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新年は、「子とも第一主義」の理念をカゲヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

四季の巡り

島根県にある、あさり保育園様を訪問させて頂くと、玄関に入ってすぐのところに火災警報器が置かれていました。周りには子どもたちが集まり、手をかざしていました。その姿に三つの驚きと感動を覚えました。

島根県にある、あさり保育園様を訪問させて頂くと、玄関に入つてすぐのところ、火鉢が置かれていました。周りには子どもたちが集まり、手をかざしていました。その姿に三つの驚きと感動を覚えました。

一つ目は保育園に火鉢が置いてあること。二つ目は火鉢の周りに柵などを設けることも

園長の相山先生にお話を伺うと、「以前から園庭でのクッキングなどを通して火に接する機会はありませんでしたが、鍋の淵を触り熱い思いをした子もいました。ところが毎月火をつけるところから始めるクッキングや寒い時期のたき火など、火を日常的に扱うようになると、火傷をする子もいなくなりました。」と仰います。

なければ、保護者からも心配するようなことを言われたことがないこと。三つ目は、子どもたちに体験の場を用意している先生方の実践の姿勢でした。

炭に火をつける手間暇も厭わず、そして、危ないからと取り除くのもなく、もともとあった暮らしの形を保育の場で用意されています。そんな体験の機会は今、今の時代だからこそ本当に有難いことなのだと感じました。



炭の香りで心も体も  
ポカポカと暖かくなります。

園長の相山先生にお話を伺うと、「以前から園庭でのクッキングなどを通して火に接する機会はありませんでしたが、鍋の淵を触り熱い思いをした子どももいました。ところが毎月火をつけるところから始めるクッキングや寒い時期のたき火など、火を日常的に扱うようになると、火傷をする子どももいなくなりました。」と仰います。

今年度のあさり保育園様の年間テーマは「四季」。季節が巡り、火の温もりから怖さまで、今の時期だからこそ一層体感できる「今、この時」を私たちも逃さず、手間暇を厭わず大事にしていきたいと思えます。

大阪府堺市にある、初芝こども園様にお伺いしました。この二年の振り返りを園長の高槻先生よりお聞かせ頂くと…、この一年は保育を異年齢に完全に変えて最初の一年という事もあり、変革の最中。目指す理念と保育に目線をやりつつも、日々の保育や今までの行事、業務にも目線をやり、目まぐるしい一年だったそうです。

どうしても忙しくなると目先に追われたり、何を大切にしていけばいいのかに迷ってしまい、目指す理念や保育から振り返る時間を持てないのですね、どんどん心が疲弊してしまうようでした。そこで、高槻先生が職員の方々に用意したのは、新たな自己評価のシートでした。

保育環境研究所ギビングツリーのホームページに掲載されている「見守る保育10か条」

振り返る軸を

の項目を元に、自己評価シートを作成し、職員みんなで振り返ります。そしてそのシートを見ながら、高槻先生は職員の皆さんが困っているところに必要な環境を用意したり、一人ひとりへの応援のメッセージを書いて励まし、寄り添っていらっしやいました。

先生方への見守りの環境が子ども達の見守りへとつながる素敵な実践を見せて頂きました。私たちも理念からの振り返りの実践を大切にしていきます。

[illegible][illegible]

評価の為ではなく、見守り合う為に活用されていました。  
(自己評価シートから一部抜粋)

お楽しみ会

昨年12月、新宿せいが保育  
園様のお楽しみ会に参加させ  
て頂きました。

開会の挨拶では、園長の藤森先生から保護者に向け、次のようなお言葉がありました。「お楽しみ会は、保育所保育指針の、言語と表現の領域に沿って行っています。指針では、『を味わう』『楽しむ』、感じる』が書かれています。楽器が弾けるようになっていくだけでなく、子どもたちが

音を出すことを楽しんでるか、音色を味わっているかを目的にしています。〇歳からの子どもたちが、どのように少しずつ音を出すことを味わっていくのか見てもらえると有難うです。」

事前に保護者宛てに配られた招待状にも、会のプログラムと一緒に、発達一覧表がついており、保護者が0歳からの発達の流れが分かるようにな



右:”朝のお集まり”をアレンジした演目  
左:桃太郎が、自分の特技を紹介。  
普段の様子が伝わってきます。



右:会の招待状  
左:一瞥を眺める保護者

# CCN

Caguya Company News

カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

## 学び返す

新潟の「えにしや」主宰で、森の共育実修所「点塾」講師の清水様とは、古くから縁が深く、共通のパートナーである博進堂様との合同研修を行ったのは昨年のこと。

なんと年末、博進堂様がその研修風景を二冊のアルバムに纏め、一年間のご挨拶と共に、ここカグヤまでお持ちくださるという嬉しいサプライズが……！ページを捲ると、そこかしこに笑顔が溢れ、各所に添えられた言葉に、あの時の想いが甦ります。2ヶ月越しに改めて



1日の研修が、1冊のアルバムに！



写真には、研修で挙がったキーワードも添えられています。



こんな写真も、いつの間に……!? 仲間の真摯な表情に、びっくり。



ページをめくると、鮮やかに思い出します。

振り返ると、「ここはこうしても面白かったな」とか、「あれはこんな感じもアリだったな」など、その時とは違った視点で見ている自分に気づきました。きつと少なからず、自分たちがあの時より前進しているからかも知れません。そこにまた、新たな学びが無数に散りばめられているのを感じます。お互いの成長を知ることとは、この先の成長をより大きくします。自分たちの歩みを形に残し伝えることの大切さと、その意味の深さを知る有難い機会となりました。

## モーニング

私たちは月に1回、皆で一緒に朝食をする「モーニング」の実践があります。

毎月担当が交代し仲間をおもてなししていますが、普段から各々が毎日の自炊を心掛けていたり、発酵食品をつくって食べたりしているため、日常実践の報告会のような場にもなっています。その



発酵食品の「モーニング」で元氣よく一日がスタートです！



共食によって、仲間との絆も深まります。

ため、お気に入りのものを自宅でマネたり、酵母や菌を分け合うことも?! 先月はお客様から頂いた梅ジャムも登場し……こんな風に頂きものを皆で美味しく楽しく味わえるこの場に豊かさを感じています。「生き方と働き方の一致」を目指す私たちにとって、こんな風に、会社での実践が暮らしへと活かされ、また自宅での実践が働きへと活かされ……更には仲間や家族、お客様との繋がり合いを実感できることは、とても幸せなこと。モーニングの豊かさと共に、人生の豊かさも増していけたらと思います。

## 持ち味を活かし合う

先月、カグヤ一家の理念研修として全クルーで島根を訪れました。訪問先の方々にお渡しするおもてなしの準備を始めるのと、丁寧な包装が出来るクルー、綺麗な字が書けるクルーが自然とそこに集まって来て自分の持ち味を發揮します。更には数日間の研修のスケジュールも、楽しい構成を考えることが得意なクルーが旅のしおりを作成してくれ

## 一期一会庵

「支え支えられる会社」

昨年末に島根県石見銀山で義肢や人工乳房などを製造している中村ブレイス株式会社に御縁をいただき会社を見学させていただきました。ここはシリコンを使ったオンリーワンの技術を持ち、世界中から商品のオーダーを受け同時に世界中から感謝のお手紙が届く素晴らしい会社です。御話をお聴きしている中でこのシリコン技術は収益度外視でお客様のために開発を続けているといい、「健全な赤字部門」という言葉の中にその志とものづくりにおける信念を感じました。

御話の中で一番印象に残ったのは「支えたい」と思っている自分たちがもつとも支えられている」という中村社長の言葉です。もともと社名の「ブレイス」という言葉は「支える」という意味があるそうです。これは身体が不自由になった方をものづくりで支えたいと念じて起業したときの社名です。起業後、社業に真摯に邁進する中で色々な方がこの会社のことを紹介してくれたり、本にしてくださいたり、テレビやニュースで取り上げてくださったり、気が付くと多くの方々に必要とされて今

ました。研修期間中もそうですが、準備の段階からお互いの得意が見えたり、それを安心してお願い出来る関係が嬉しくも感じられました。一人ひとり違うからこそ、それぞれの持ち味を活かしながら働いていきたいと思っています。



場面場面で持ち味が光ります！



仲間の得意は周りの安心に……

のような会社になったという御話をお聴きました。人を大切にし地域への御恩を忘れず、御父様をはじめ他人様からの助言を素直に聴き、夢が実現するまで諦めず努力し続けている姿の陰に「支え支えられる」ことの本質を実感しました。

私も見守る保育を学ぶ中で、見守っていたはずが気が付くと見守られていたのは自分ではないかと感じる機会が沢山あります。そんな時は皆皆自己一体に相手を自分だと思っと思えば自分がその思いやりと同時に守られていることに気づくのではないかと実感します。論語に「を以て之を貴く」という有名な句がありますが、まさに相手を思いやる心を大切にしている理念を貫き守る「人を伴せにする」素敵な会社でした。私たちも子ども達が憧れるような会社を目指していますから、真心を貫く素敵な会社を見習い引き続き弛まずに理念の実践を精進していきたいと思っています。

## 編集後記

今月もご愛読頂き、ありがとうございます。今年も沢山の園様とカグヤの実践を紹介したいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。

  
caguya  
株式会社 カグヤ

本 社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビルディング2号館10階  
tel.03-5909-7155  
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17  
東京堂神保町第3ビルディング8階  
tel.03-3518-6217  
fax.03-3518-6218

☎フリーダイヤル 0120-917-389  
URL: <http://www.caguya.co.jp>  
E-mail: [support@caguya.co.jp](mailto:support@caguya.co.jp)  
受付時間 月～金 9:00～18:00  
(土・日曜祝祭日を除く)